

自転車・歩行者安全対策に関する意見交換会 主な意見

◆はしる

推奨ルート設定

- ・対策の方向性は概ね賛成だが、個別のルート選定は地域で生活する人の意見を考慮してほしい。
- ・地域によっては緑道を自転車で通行せざるを得ない場合もあるので、自転車と歩行者の通行空間を分離する提案に賛成だ。

歩行者・自転車・自動車の分離

- ・歩行者・自転車・自動車をそれぞれ分離するのが理想だが、空間の制約もあるので「素案」の考え方に同意する。

車道における自転車の通行空間

- ・既設の自転車レーンでは、路上駐車が多い。自転車レーン整備の際には、自動車を駐停車させない方法も検討してほしい。
- ・狭い歩道上を自転車が通行すると歩行者は危険を感じるので、このような区間では車道上に自転車通行空間を整備してほしい。
- ・自転車専用通行帯などで、物理的に分離してほしい。

緑道における自転車の通行空間

- ・道路に近接しておらず、生活道路として緑道を使わざるを得ない区間がある。
- ・緑道を自転車に乗って通行せざるを得ない状況にあるならば、お互いに歩み寄れる総合的な整備案を検討することが重要。
- ・車止めの柵は、車椅子や乳母車にとっては邪魔になることがある。高齢者にとっての使いやすさも考えていくべき。

北山田地区に関すること

- ・荏田綱島線北山田駅付近は危険なので中央分離帯を狭くして、歩行者、自転車の分離をしてほしい。

仲町台地区に関すること

- ・緑道を自転車に乗って通行せざるを得ない状況にあるならば、お互いに歩み寄れる総合的な整備案を検討することが重要。（再掲）
- ・提示された推奨ルートは、緑道(せきれいのみち)と比べて、勾配が厳しく、距離的・時間的にも遠回りであり、クルマとの接触の危険もある。自転車の推奨ルートに指定しても、不便で誰も使わないのではないか。

◆まもる

ルール・マナーの向上

- ・歩行者の安全対策、自転車利用者のルール・マナーの向上に努めてほしい。
- ・高齢者、幼児、乳幼児を連れた親に関しては、緑道等を走行可というルールとしてもいいのではないか。
- ・「歩行者優先」を「見える化」することに賛成。
- ・町内会、中学・高校等でルール・マナーの周知、徹底が重要である。
- ・看板、路面表示等でルール・マナーを周知し、伝えていくことが重要。
- ・現状、多くの人が緑道を自転車で走行しているが、安全面を考えると自由に走行させるべきでない。

ルールの徹底

- ・自転車通行せざるを得ない緑道では、ルール・マナーを周知し、自転車・歩行者双方の安全性を確保することが必要。
- ・「自転車押し歩き」の看板があっても、自転車で走行している人がいる。ルールを決めたら徹底しないと意味がない。
- ・広い緑道で自転車を押し歩きしている人は見たことがない。
- ・グリーンマトリックスは区民に親しまれており、緑道とは別に「自転車推奨ルート」を設定しても、そのとおり走ることは困難ではないか。

自転車通行帯の通行方向

- ・新羽荏田線の自転車専用通行帯（車道上）では、逆走が見られるので、矢羽根等により、走行可能な方向を示すべき。
- ・新羽荏田線の（自転車通行空間）では、路上駐車車両が多く、自転車が車道へはみ出すことで危険となる場合がある。

3地区以外での対策

- ・今回の3地区以外でも安全対策を検討してほしい。